

## みんなで楽しめる祭として 昭和40年にスタート

合併して初めて行われる今年のテーマは、「新しいまちを結ぶ いなばの夏まつり 鳥取しゃんしゃん祭」。このお祭りがスタートしたのは昭和40年（1965）のこと。鳥取市では、聖神社、大森神社の5月の例祭に合わせて、昭和36年（1961）から「鳥取祭」が行われていましたが、市長をはじめとする要人の市パレードが中心でした。昭和39年（1964）の現在の市役所本庁舎完成を機に、市民がそろって楽しめるお祭りにと、当時の高田勇市長らが、「因幡の傘踊り」を大衆化し、新作民謡の「きなんせ節」に合わせて、誰でも気軽に踊れるものを考案したものです。

お祭りの名称は一般公募され、シャンシャンという鈴の音と、市内に湧き出る温泉のようすから「しゃんしゃん祭」と名付けられました。以後40年以上、毎年8月16日前後に行われています。

## 初参加が多い 今年の連に乞うご期待

今年のしゃんしゃん一斉踊りには、71団体、総勢3500人のみなさんが参加。特に今年は、韓国の学生や青年団などの若者をはじめ、初参加が多いのが特徴です。「きなんせ節」、「鳥取しゃんしゃん傘踊り」のほかに振り付けが自由の「しゃんしゃんしゃんぐりら」、「平成鳥取音頭」の4曲を午後5時から9時まで、若桜街道、駅前、太平洋線通り、智頭街道、風紋広場で踊ります。また、午後6時30分からの10分間の休憩には「米子子ども万灯」のかわいい演技が、午後7時30分からはしゃんしゃん傘踊りの源流である勇壮な「因幡の傘踊り」が、智頭橋で披露されます。

## 地域の特産品も出店

お祭りのムードを盛り上げるため、直径3メートル以上もあるシンボルの大傘を1日（月）から、鳥取駅前風紋

広場と市役所玄関に設置します。傘の骨が80本、短冊80枚、鈴80個と見応え十分の大傘。お祭りを前にぜひ、ご覧になってみてください。

また、お祭り当日は、若桜橋から智頭橋までの旧袋川沿いと鳥取駅前北口に、昨年に引き続き「賑わい屋台村」が店開き。今年は、合併した旧町村からも地域の特産品などが出品される予定です。で、こちらもご期待ください。

当日のイベントや交通規制、参加連など、詳しいことについては、付録のチラシをご覧ください。



問い合わせ先  
鳥取しゃんしゃん祭振興会  
(鳥取観光コンベンション協会内)  
☎(0857) 26-0756

## 踊ってみませんか？

### しゃんしゃん傘踊り講習会

市民、観光客および参加連のみなさんに、「きなんせ節」、「鳥取しゃんしゃん傘踊り」、「平成鳥取音頭」、「しゃんしゃんしゃんぐりら」の踊り方を指導します。

**とき** 7月25日（月）～8月5日（金）土・日曜を除く毎日 午後5時30分～

**ところ** 鳥取駅前風紋広場

※祭当日、午後5時から9時まで、きなんせ広場に「傘踊り体験コーナー」を設けます。

## ジゲの食をお楽しみください！

### 賑わい屋台村

ジゲの食べ物などを揃えた飲食店やフリーマーケットなど、約20の屋台が集結します。

**とき** 8月16日（火）午後5時～9時

**ところ** 若桜橋から智頭橋までの旧袋川沿い

**内容** 豆腐ドーナツ(国府)、砂焙煎コーヒー(福部)、梨シャーベット(佐治)、ひな氷(用瀬)、荒磯イカ焼き(気高)、鹿野そば(鹿野)、いがい飯(青谷) など

## あなたもカメラマン？！

### 写真コンテスト

**応募期間** 8月17日（水）～9月末日

**作品の規格** キャピネ判以上のカラープリント

**作品の規定** 鳥取しゃんしゃん祭を撮影したもので1人何点でも/未発表の自作品

**応募方法** 所定の応募用紙（事務局、市役所本・駅前庁舎、各総合支所などに配置）に記入し、持参または郵送で

**表彰** 大賞1作品（賞金3万円）/優秀賞3作品（賞金1万円）/佳作10作品（賞金5千円）

**応募・問い合わせ先** 〒680-0835 鳥取市東品治町111-1 鳥取しゃんしゃん祭振興会事務局（鳥取観光コンベンション協会内）☎(0857) 26-0756

## ご休憩にどうぞ！

### パレットとっとり市民交流ホール

しゃんしゃん祭ライブ中継を大型スクリーンで放送します。ちょっと涼みにお立ち寄りください！

**とき** 8月16日（火）午後5時～9時

おまけ  
情報